



Monobe Times

教育目標

- 心情豊かな人
- 自ら学ぶ人
- 勤労を尊ぶ人
- よく考えて行動する人
- 国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838

TEL 0285-75-0008

HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monojhsc/>

ホームページで学校の様子を紹介しています。
ぜひご覧ください。



真岡市立物部中学校

学校だより

令和6年度 第3号

令和6年 6月発行

校長室から

6月15日は「県民の日」です

校長 柳 利道

5月27日(月)から29日(水)の2泊3日で、3年生は、京都・奈良への修学旅行に行ってきました。台風が来て、全日雨の予報が出ており、心配でしたが、初日、3日目は、雨に降られずに過ごすことができました。2日目は、大雨の中の班別行動となってしまいましたが、雨を避けながら寺社を見学し、夕方には茶道の体験を行うことができました。初日の法隆寺・東大寺の見学では、ガイドさんの話に真剣に耳を傾けている様子が印象的でした。生徒たちの振り返りには、良い思い出が綴られていました。

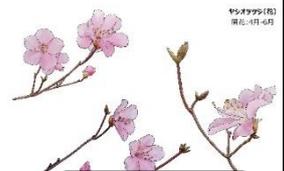
また、1, 2年生も同日に自然教室(宿泊学習)に行ってきました。教員も生徒たちもいつもと違う、先生や友だちの様子を見て、親交が深まったようでした。

◇県民の日◇

6月15日(月)は「栃木県民の日」です。栃木県のホームページによると、「県民一人ひとりが、郷土を見直し、理解と関心を深め、県民としての一体感と自治の意識を高く、より豊かな栃木県を築きあげることを期する日」として制定されたとのこと。明治6年(1873年)に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ区域の栃木県が成立した日である6月15日を県民の日としました。



トチノキ



ヤシオツツジ

栃木県庁(株)
編集:15-6月

オオルリ



「とちぎのシンボル」である「県木:トチノキ(栃の木) / 県獣:カモシカ / 県花:ヤシオツツジ / 県鳥:オオルリ」などは広く知られているところですが、栃木県のホームページに「とちぎの生いたち」が掲載されていたので、その一部を紹介します。

<鎌倉時代から江戸時代まで>

鎌倉幕府が成立すると、小山・宇都宮・足利・那須などの下野の武士も御家人として活躍しました。なかでも小山氏は、下野国の守護を務め、一族は結城・長沼等に分かれて栄えました。

また、宇都宮氏の「宇都宮歌壇」は都までその名声をうたわれ、足利学校は「坂東の大学」として宣教師によってヨーロッパにまで隆盛の様子が伝えられました。

徳川家康が幕府を開くようになると、中世以来の豪族は相次いで下野から姿を消し、天領や旗本領に細分化され大名や旗本が支配するようになりました。

日光は幕府の聖地として東照宮をはじめとする華麗建物が作られ、特別に保護、崇敬されました。

また、二宮尊徳は、近世後期の荒廃した農村のたて直しを図るため、桜町(現在の二宮地区)の旗本領の復興に努め、以後各地で報徳仕法と呼ばれる改革事業を実施しました。



カモシカ

<幕末から近・現代まで>

戊辰戦争を経て明治維新を迎えると、政府は中央集権を推し進めるため廃藩置県を断行し、旧来の封建支配の一掃を図りました。さらに県の整理統合が進められ、明治6年(1873年)6月15日に今日の栃木県が成立しました。県庁は、最初栃木町(現在の栃木市)に置かれていましたが、明治17年(1884年)に宇都宮町(現在の宇都宮市)に移されました。

このように、二宮尊徳翁が桜町で行った復興事業については、「とちぎの生いたち」の中にしっかりと記載されており、本県にとっても大きな出来事だったことが分かります。

本校の目指す生徒像は、「未来を切り拓く 学力・人間力を身に付け ふるさと物部に貢献できる生徒」です。生徒たちが生きるこれからの時代は、グローバル化が一層進展し、国境を越えた様々な交流が当たり前に行われます。そのような時代だからこそ、自分が生まれたふるさとのことをしっかりと知り、そのよさを実感し、自己によって立つ基盤にしっかりと根を下ろすことが大切だと考えます。本校では、今後も郷土愛の醸成に力を注ぎ、世界で活躍できる人材の育成を図って参ります。

◇修学旅行◇ (5月27日～29日実施)



法隆寺



奈良公園



美好園(茶道体験)



北野天満宮



金閣寺



渡月橋(嵐山)

◇自然教室(宿泊学習)◇ (5月27日～29日実施)



野外炊さん



創作活動(藍染め)



創作活動(七宝焼き)



キャンドルファイヤー



ふれあい活動(バームクーヘン)



全員で集合写真

2日目は、雨模様となりましたが、生徒全員楽しく活動してきました。
 残念ながら、ふれあい活動では、物部地区の敬老の方とのふれあいはできませんでした。来年は、ぜひ、ふれあえるように呼びかけをしたいと思います。

◇お願い◇

物部中学校は緑豊かで、過去には全国学校緑化コンクールで特選をとったこともあります。しかし、近年は、生徒の減少もあり、樹木の剪定、草木の管理が困難な状況にあります。つきましては、剪定作業や、草刈りなど庭園の管理などボランティアとして協力していただける方がいらっしゃいましたら、学校まで連絡を頂ければと思います。よろしくお願いします。